

2019 年度実施概要

学校名

三原市立木原小学校

採択活動名

スナメリプロジェクト

取り組みの概要

三原市立木原小学校は、広島県三原市と尾道市の境にあり、瀬戸内海沿岸に位置している。豊かな海と美しい景色、そしてそこに住む温かい人たちによって発展してきた魅力あふれる地域である。

この木原沖（学校のすぐ目の前）に2つの島「大鯨島」と「小鯨島」があり、かつて40年前には「スナメリ」がすんでいた。「今は見られなくなってしまったスナメリをもう一度この木原に呼び戻したい」という願いのもと、平成27年度に「スナメリプロジェクト」を立ち上げ、歴代の5・6年生が学習を進め、今年度で5年目を迎えた。

木原小学校の児童は海の近くに住んでいるにもかかわらず、海での体験や海の知識がほとんどない。海辺は護岸コンクリートで覆われ、児童にとって海は遊ぶところではないからである。そこで、プロジェクトを進めていく上で、児童が海に対して興味をもち、親しみを感じ、学びたいという気持ちを育てることが大切であると考えた。また、プロジェクトを継続させていくために、全校児童や地域へ学習の成果を発信し、学校の宝・地域の宝にしていく必要があると考えた。

以上から、「スナメリを木原の海に戻す」ために、「木原の海を豊かにする」という目標を立て、①木原の海を調べる（鯨島調査）、②海のゆりかごとと言われるアマモを増やす、③海を知る・体験する、④活動成果の発信 の4つの活動を主として学習を進めた。

（1）木原の海を調べる（鯨島調査）

- ・春、夏、秋、冬季節ごとに水質と生物の調査をする。
- ・鯨島に3つの調査地点を決め、「コドラード法」を用いて、どんな生物がどれくらいいるのか調査する。
- ・今年度の調査結果とこれまでの調査結果を用いて、比較、分析し、考察をする。

（2）アマモの栽培、植え付け

- ・春にアマモの種子を鯨島に植える。
- ・夏にアマモの種子を採取し、秋に種子選別をする。
- ・学校の水槽で苗を育てる。

（3）海を知る・体験する

- ・瀬戸内海エコツアーリズム協議会 上嶋先生や岩井先生から瀬戸内海やスナメリについて学ぶ。
- ・瀬戸内海エコツアーリズム協議会 河原先生から海藻おしぼを教えてもらい、海藻の標本を作ったり、アート作品を作ったりする。
- ・広島県大崎上島で校外学習をし、スナメリウォッチングをする。
- ・木原の海と大崎上島の海とを比較し、共通点や相違点を見つけ、今後の活動に生かす。

（4）活動の発信

- ・学習発表会（11月）に地域や全校へ5年間の活動報告をする。

・ 2月…これまでの活動について壁新聞で伝える。

活動中の写真



実施単元名 ※実施した単元の数に応じて記載してください

1. 木原の海を調べよう
2. 海のゆりかご「アマモ」を育てよう
3. 海を知ろう，体験しよう